



平成 23 年 12 月 16 日

各 位

会 社 名 中央ビルト工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 西本 安秀
(コード：1971 東証第 2 部)
問合せ先 常務取締役管理統括本部長 安達 圭朗
(TEL. 03-3661-9631)

主要取引先との取引高減少について

当社の主要取引先との取引高が減少する見通しとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 取引減少が見込まれるに至った経緯

当社が主要取引先である旭化成ホームズ株式会社グループ（以下「旭化成ホームズ」といいます）との間で締結している鉄骨部材製造受託に係る契約に関して、一部商品について、旭化成ホームズより平成 24 年 4 月 1 日以降、その受託量を削減したい旨の通達がありました。これは旭化成ホームズが当社受託製造部分を出来るだけ、同グループ自社製造に切り換えると云う基本方針によるものであります。両者間で協議を重ねた結果、この程合意に至ったものであります。

これにより当該製造受託の全てが解消される訳ではありませんが、平成 25 年 3 月期においては、おおよそ旭化成ホームズへの売上高の 40%、当社の売上高全体の 14%（いずれも平成 24 年 3 月期実績見込みに対する比率）が減少する見込みです。

2. 取引の内容

- (1) 取引先名 旭化成ホームズ株式会社（旭化成株式会社の 100%子会社）
旭化成住工株式会社（旭化成ホームズ株式会社の 100%子会社）
- (2) 取引の種類 旭化成ホームズ株式会社が販売する「ヘーベルハウス®」等に
使用される鉄骨部材製造受託
- (3) 売上高減少額 約 12 億円（平成 24 年 3 月期実績見込みの当社売上高全体の 14%）
- (4) 損益影響額 約 50 百万円（粗利益ベース）

3. 今後の見通し

今後は本取引減をカバーすべく新規商内取込みに営業力を強化すると同時に人員の見直しに依る効率化、保有資産圧縮を全力をあげて検討して居ります。既存の収益基盤をより強固にして採算重視の営業方針のもと利益体質を維持していく所存であります。

以 上